2023/10/13（予定） 機能追加

証憑受領時に入力した証憑項目を取引先マスターに反映してほしい 他 27 件

トピック

- 証憑
  - 証憑受領時に入力した証憑項目を取引先マスターに反映してほしい
  - AI-OCRで読み取ったインボイス登録番号を取引先マスターに自動で反映してほしい AI-OCR
  - 証憑項目の内容がAI-OCRで読み取った結果かどうかを判断したい AI-OCR
  - 取引先マスターの情報を証憑項目に反映してほしい
  - アップロードした証憑ファイルを別のフォルダに移動してほしい
- 取引入力
  - 業務連携入力にて連携元のマスターを自動で登録してほしい
  - 業務連携入力にて勘定科目コード順で仕訳伝票を起票してほしい
  - 業務連携入力にて貸借摘要に対応してほしい
  - 業務連携入力の仕訳伝票起票の根拠となる連携元のデータを確認／修正したい
  - 法人口座や法人カードの取引明細の参照を、利用者ごとに制限したい
  - 取引ファイル受入時に前回と同じファイルを指定したい
  - 仕訳伝票の検索条件をクリアしたい
  - 証憑が添付されていない仕訳伝票だけを抽出して確認／修正したい
  - 仕訳伝票チェックルールに、対象の伝票日付を指定したい
  - 承認済みやロックされている期間の仕訳伝票に対して、消費税区分などを一括で変更したい
  - 仕訳伝票の専用用紙を印刷する際に横向きで印刷したい
- 法人情報
  - 当サービス以外の得意先や仕入先で追加／修正された内容を自動で反映してほしい 奉行V ERP
  - 『商奉行クラウド』の得意先や『蔵奉行クラウド』の仕入先と当サービスの取引先を連携したい
  - 勘定科目の最大登録件数を3,000件に変更 奉行V ERP
  - 絞り込みやソートをした状態のまま、Excelファイルに出力したい
- 消費税帳票
  - 仮払消費税・仮受消費税の金額を手入力した仕訳明細だけを一覧で確認したい
  - 科目別課税対象額集計表の集計時に、配賦伝票を除外したい
- 請求書
- 内訳書／概況書
- その他
  - ［汎用データ作成］メニュー／［汎用データ受入］メニューの条件設定をパターンとして登録したい

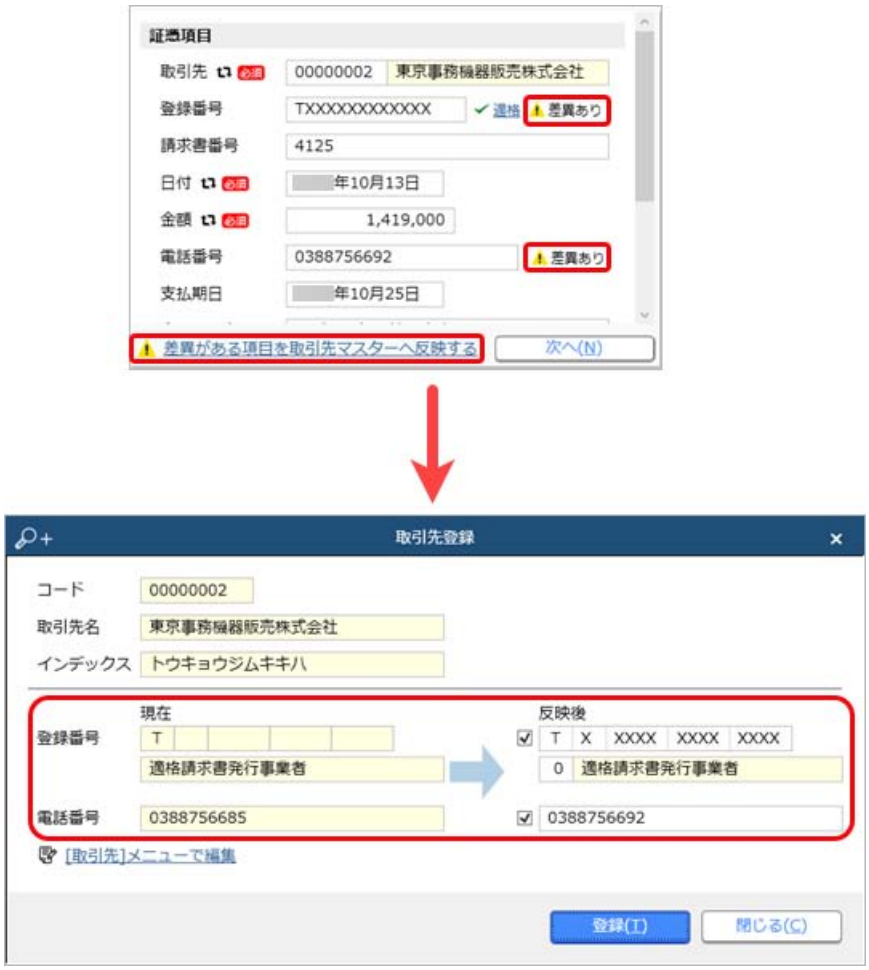
- ツールメニューのデザイン変更
- ツールメニューをクイックメニューに追加したい
- メニューマップを前回の展開状態で表示

証憑

証憑受領時に入力した証憑項目を取引先マスターに反映してほしい

取引先マスターを指定した後に、「登録番号（インボイス登録番号）」「電話番号」「請求元住所」などを証憑項目に入力すると、取引先マスターと異なる情報、または取引先マスターに登録されていない情報を取引先マスターに反映できるようになりました。
なお、『AI-OCR for 勘定奉行クラウド』をご利用の場合は、証憑の「登録番号（インボイス登録番号）」や「電話番号」から対象の取引先マスターが自動で表示され、AI-OCRで読み取った証憑項目の情報を取引先マスターに反映できます。

「差異がある項目を取引先マスターへ反映する」をクリックすると、取引先マスターに反映されます。



対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - 取引入力 - 証憑入力］メニュー

AI-OCRで読み取ったインボイス登録番号を取引先マスターに自動で反映してほしい

AI-OCR

適格請求書発行事業者から証憑を受領した場合は、AI-OCRで読み取った「登録番号（インボイス登録番号）」が取引先マスターに自動で反映されます。
取引先マスターに「インボイス登録番号」を入力する手間が省けます。

以下の条件を満たした場合に「登録番号（インボイス登録番号）」が取引先マスターに反映されます。

- 受領した取引先マスターにインボイス登録番号が未入力の場合
- AI-OCRで読み取った「登録番号（インボイス登録番号）」や「電話番号」から対象の取引先マスターが自動で表示された場合
  （検索して取引先マスターを表示した場合は、反映されません。）
- AI-OCRで読み取った「登録番号（インボイス番号）」が国税庁「適格請求書発行事業者公表サイト」に登録済みの場合

対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - 取引入力 - 証憑入力］メニュー

証憑項目の内容がAI-OCRで読み取った結果かどうかを判断したい

AI-OCR

AI-OCRで読み取った結果と取引先マスターの情報（または手入力した情報）のどちらが証憑項目に反映されているかを判断できるようになりました。

OCRをクリックすると、どちらの情報を反映するか切り替えできます。



対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - 取引入力 - 証憑入力］メニュー

取引先マスターの情報を証憑項目に反映してほしい

証憑を受領した際に、「インボイス登録番号」や「電話番号」などの情報が登録された取引先マスターを選択すると、取引先マスターの情報が証憑項目に自動で反映されます。
事前に取引先マスターを整備している場合は、証憑項目を入力する手間が省けます。
なお、『AI-OCR for 勘定奉行クラウド』をご利用の場合は、証憑の「登録番号（インボイス登録番号）」や「電話番号」から対象の取引先マスターが自動で表示されて証憑項目に反映します。

対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - 取引入力 - 証憑入力］メニュー

アップロードした証憑ファイルを別のフォルダに移動してほしい

証憑のアップロードが完了すると、証憑は「アップロード済」フォルダーに自動的に移動されます。
所定のフォルダーには未アップロードの証憑だけが存在するので、効率的にアップロードできます。

対応メニュー

［法人情報 - 経理規程 - 証憑設定 - 証憑種類］メニュー
［財務会計 - 取引入力 - 取引入力 - 証憑入力］メニュー
［財務会計 - 取引入力 - 取引入力 - 証憑一括添付］メニュー
［財務会計 - 取引入力 - 証憑リスト］メニュー

取引入力

業務連携入力にて連携元のマスターを自動で登録してほしい

『債権奉行クラウド』や『債務奉行クラウド』から当サービスに仕訳伝票を連携した際に、勘定科目や部門、取引先などの名称が一致していたら、自動で関連付ける（登録する）ようになりました。
1つずつ確認しながら手動で関連付ける必要がなくなります。

参考　『奉行V ERPクラウド』の［関連付け[取引先]］メニューで紐付けを設定している場合は、そちらでの連携情報が優先されます。

また、『給与奉行クラウド』や『固定資産奉行クラウド』の科目と当サービスの勘定科目を関連付ける際は、連携元の項目の名称から判断して、当サービスの勘定科目の候補が表示されるようになりました。

例　『給与奉行クラウド』の場合

- 「基本給」の場合
  勘定科目「給料手当」「雑給」などが候補として表示される。

- 給与体系に「役員」の文字が含まれる場合
  勘定科目「役員報酬」も候補として表示される。

対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - 取引入力 - 業務連携入力］メニュー

業務連携入力にて勘定科目コード順で仕訳伝票を起票してほしい

勘定科目コード順で、仕訳伝票を起票できるようになりました。

［業務連携入力］画面で⚙をクリック、または［F3：設定］を押して、［基本］ページで「仕訳明細を並べ替える」にチェックを付けると、「勘定科目コード順」に並び替えるか設定できます。

なお、「部門コード順」や「取引先コード順」など、他のマスター順にも並び替えできます。

対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - 取引入力 - 業務連携入力］メニュー

業務連携入力にて貸借摘要に対応してほしい

『債権奉行クラウド』や『債務奉行クラウド』から書き込まれた摘要を、当サービスの借方摘要と貸方摘要にそのままセットできるようになりました。

貸借摘要としてセットする場合は、［業務連携入力］画面で⚙をクリック、または［F3：設定］を押して、［明細入力］ページで「貸借摘要として連携する」を選択します。

対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - 取引入力 - 業務連携入力］メニュー

業務連携入力の仕訳伝票起票の根拠となる連携元のデータを確認／修正したい

［業務連携入力］画面の［元データ］ページを刷新し、連携元のデータを詳細に確認できるようになりました。

連携元のデータから仕訳伝票を起票できなかった場合、［元データ］ページに「変換失敗　〇件」と表示されます。「〇件」をクリックすると、変換に失敗した項目にフォーカスが移動するので、失敗した理由を確認しながら仕訳伝票を修正できます。

対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - 取引入力 - 業務連携入力］メニュー

法人口座や法人カードの取引明細の参照を、利用者ごとに制限したい

［利用者権限］メニューで、利用者ごとに法人口座や法人カードに参照権限を付与すると、管理している法人口座／法人カードの取引明細だけを参照できるようになりました。

対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - 取引入力 - 銀行入出金明細入力］メニュー
［財務会計 - 取引入力 - 取引入力 - キャッシュレス明細入力］メニュー

メインメニュー右上のから［利用者権限 - 取引金融機関権限］メニュー

取引ファイル受入時に前回と同じファイルを指定したい

［取引ファイル受入］メニューで、前回指定したファイルのパスを保存できるようになりました。
前回と同じパスに取引ファイルを保存している場合は、取引ファイルを指定せずに受け入れできるようになります。

対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - 取引入力 - 取引ファイル受入］メニュー

仕訳伝票の検索条件をクリアしたい

［仕訳伝票入力］メニューや［仕訳帳］メニューで、仕訳伝票の検索条件をクリアできるようになりました。
［条件クリア］ボタンをクリックすると、指定した条件がすべてクリアされます。
ただし、［仕訳帳］メニューでは検索条件をパターンとして登録している場合は、クリアできません。

対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - 仕訳伝票入力］メニュー
［財務会計 - 会計帳票 - 仕訳帳］メニュー

証憑が添付されていない仕訳伝票だけを抽出して確認／修正したい

集計条件に、証憑の添付あり／なしが追加されました。

対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - 仕訳伝票一括更新 - 消費税一括変更］メニュー
［財務会計 - 取引入力 - 仕訳伝票一括更新 - 仕訳伝票一括修正］メニュー
［財務会計 - 消費税帳票 - 消費税区分明細表］メニュー

仕訳伝票チェックルールに、対象の伝票日付を指定したい

仕訳伝票のチェックルールに伝票日付を設定できるようになりました。
追加した日付以降の仕訳伝票だけをチェックできるようになります。

対応メニュー

［法人情報 - 経理規程 - 仕訳伝票設定 - 仕訳伝票チェックルール］メニュー

承認済みやロックされている期間の仕訳伝票に対して、消費税区分などを一括で変更したい

［消費税一括変更］メニューで、消費税一括変更の方法として、反対仕訳での修正を選択できるようになりました。
上記に伴い、決算確定／決算締め済みや承認済みの仕訳伝票、ロックされている期間の仕訳伝票も一括変更できます。
承認済みの仕訳伝票の場合、修正を許可する設定であれば、仕訳伝票を上書き修正することもできます。

参考 以下のような上書き修正できない仕訳伝票の場合は、［消費税一括変更］画面の参考欄にアイコンが表示されます。
一括変更する前に仕訳伝票の状態を確認できます。

- 承認済みの仕訳伝票
- ロックされている期間の仕訳伝票
- 決算確定／決算締め済みの仕訳伝票



対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - 仕訳伝票一括更新 - 消費税一括変更］メニュー

仕訳伝票の専用用紙を印刷する際に横向きで印刷したい

専用用紙が１伝票分余った場合などは、余った用紙を横向きで印刷し、用紙を節約できるようになります。

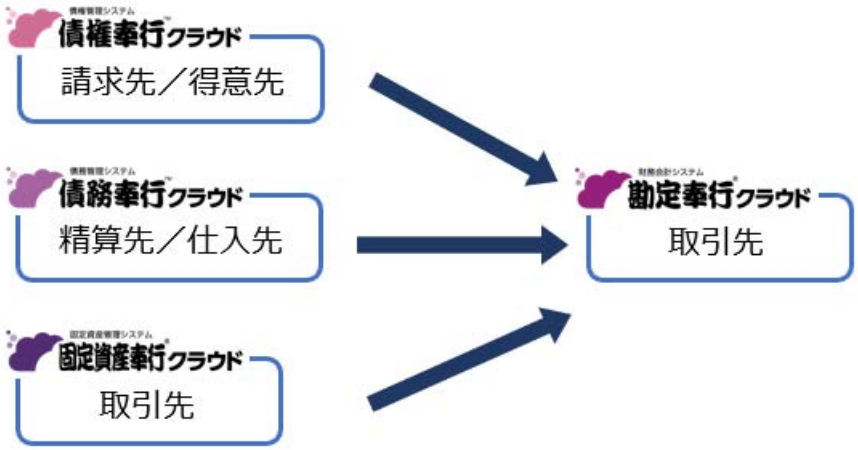
対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - 仕訳伝票入力］メニュー
［財務会計 - 会計帳票 - 仕訳帳］メニュー

法人情報

当サービス以外の得意先や仕入先で追加／修正された内容を自動で反映してほしい

奉行V ERP



今までは「コード」が一致する得意先マスターや仕入先マスターと当サービスの取引先マスターが連携していましたが、「名称」や「法人番号」などのマスター情報が一致する取引先マスターとマッチングし、連携できるようになりました。
「名称」→「法人番号」→「インボイス登録番号」→「電話番号」の順にマスター情報を確認し、当サービスの取引先マスターと自動でマッチングします。

一度マッチングすると、当サービス以外で修正した得意先マスターや仕入先マスターの情報が当サービスの取引先マスターに反映されます。
複数の『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合は、当サービスの取引先マスターに重複した情報を入力する手間が省けます。

以下の『奉行V ERPクラウド』のマスターとマッチングし、連携できます。

サービス	連携データ
債権奉行V ERPクラウド	請求先マスター／得意先マスター
債務奉行V ERPクラウド	精算先マスター／仕入先マスター
固定資産奉行V ERPクラウド	取引先マスター
商奉行V ERPクラウド	得意先マスター
蔵奉行V ERPクラウド	仕入先マスター
奉行Edge 請求管理電子化クラウド	得意先マスター
奉行Edge 支払管理電子化クラウド	精算先マスター

追加メニュー

［法人情報 - 取引先 - 関連付け[取引先]］メニュー

対応メニュー

メインメニュー右上の⚙から［運用設定］メニュー

『商奉行クラウド』の得意先や『蔵奉行クラウド』の仕入先と当サービスの取引先を連携したい

『商奉行クラウド』の得意先マスターや『蔵奉行クラウド』の仕入先マスターと、当サービスの取引先マスターが連携できるようになりました。
連携すると得意先マスターと仕入先マスターの更新内容が当サービスの取引先マスターに自動で反映されます。

対応メニュー

［法人情報 - 取引先 - 取引先］メニュー

メインメニュー右上の⚙から［運用設定］メニュー

勘定科目の最大登録件数を3,000件に変更

奉行V ERP

勘定科目を3,000件まで登録できるようになりました。

対応メニュー

［法人情報 - 経理規程 - 勘定科目 - 勘定科目］メニュー

絞り込みやソートをした状態のまま、Excelファイルに出力したい

画面上部で［クイックExcel］を押すと、画面に表示されている出力項目をそのままExcelファイルに出力できるようになりました。

対応メニュー

［法人情報 - 経理規程 - 勘定科目 - 補助科目］メニュー
［法人情報 - 部門 - 部門 - 部門］メニュー
［法人情報 - 取引先 - 取引先］メニュー
［法人情報 - セグメント - セグメント１ - セグメント１］メニュー（『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）
［法人情報 - セグメント - セグメント２ - セグメント２］メニュー（『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）
［法人情報 - 摘要 - 摘要］メニュー

消費税帳票

仮払消費税・仮受消費税の金額を手入力した仕訳明細だけを一覧で確認したい

［科目別課税対象額集計表］メニューで消費税額の「概算との差額」が大きい場合に、［消費税手入力確認リスト］メニューにジャンプして、仮払消費税・仮受消費税の金額を手入力した仕訳明細だけを一覧で確認できるようになりました。

消費税手入力確認リストでは、以下のような仕訳明細だけを確認できます。

- 自動計算された消費税額を手修正している仕訳明細
- 消費税科目（仮払消費税・仮受消費税）を直接使用して、消費税額を個別計上している仕訳明細

追加メニュー

［財務会計 - 消費税帳票 - 消費税手入力確認リスト］メニュー

対応メニュー

［財務会計 - 消費税帳票 - 科目別課税対象額集計表］メニュー

科目別課税対象額集計表の集計時に、配賦伝票を除外したい

消費税帳票の各メニューと［消費税一括変更］メニューの集計条件に、仕訳伝票区分が追加され、配賦伝票など消費税のチェックに関係ない仕訳伝票を除外できるようになりました。

対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - 仕訳伝票一括更新 - 消費税一括変更］メニュー
［財務会計 - 消費税帳票 - 科目別課税対象額集計表］メニュー
［財務会計 - 消費税帳票 - 科目別消費税区分集計表］メニュー
［財務会計 - 消費税帳票 - 消費税区分明細表］メニュー

請求書

メインメニュー左側の「サービス選択」に「債権奉行」が表示されている場合は、『奉行Edge 請求管理電子化クラウド』のリリースノートも併せてご参照ください。

内訳書／概況書

メインメニュー左側の「サービス選択」に「申告奉行[内訳書／概況書編]」が表示されている場合は、『申告奉行[内訳書／概況書編]』のリリースノートも併せてご参照ください。

その他

［汎用データ作成］メニュー／［汎用データ受入］メニューの条件設定をパターンとして登録したい

［データ作成条件設定］画面／［データ受入条件設定］画面の［パターン作成］ボタンをクリックすると、条件をパターンとして登録でき、次回以降も同じ条件で作成／受入できます。
複数の条件で汎用データを作成／受入する場合は、パターンとして登録しておくと便利です。

対応メニュー

メインメニューの右上のから［汎用データ作成 - 法人情報 - 取引先データ作成］メニュー

メインメニューの右上のから［汎用データ作成 - 財務会計 - 仕訳伝票データ作成］メニュー

メインメニューの右上のから［汎用データ受入 - 財務会計 - 仕訳伝票データ受入］メニュー

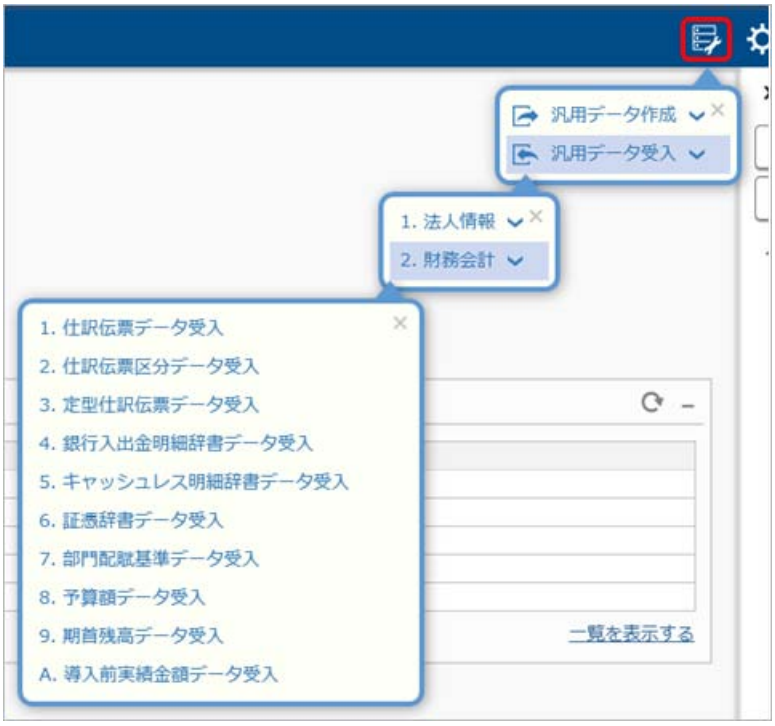
ツールメニューのデザイン変更

［汎用データ作成］メニューや［汎用データ受入］メニューなどについて、階層表現のデザインを変更しました。

変更前



変更後

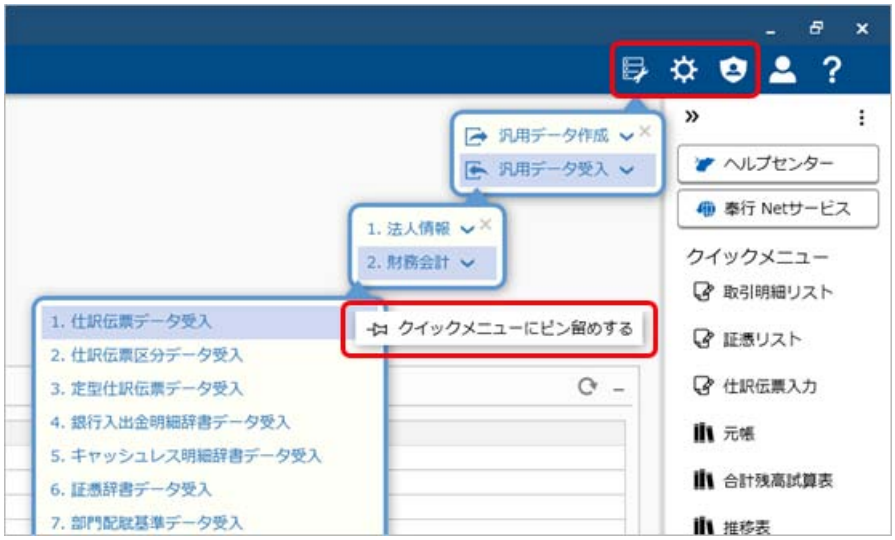


参考　連続でメニューを選択する場合は、クイックメニューにピン留めするかメニューマップをご利用ください。

ツールメニューをクイックメニューに追加したい

ツールメニューをクイックメニューに追加できるようになりました。

メニュー名の後ろのをクリックし、「クイックメニューにピン留めする」をクリックします。



メニューマップを前回の展開状態で表示

今までメニューマップを起動した際は、すべての階層が展開されていました。
今回から前回の展開状態で表示されます。



内容については、変更または次回以降へ延期する場合があります。